

二ノ湯しんじと共に

京都の力を しんじるタベ

日頃より大変お世話になりまして、ありがとうございます。
府市による二元的行政の解消は、動物愛護センターに続き、
保健衛生関係の研究所の統合も決まりました。
しかしこれら合理化よりも大切なことは、合理化で得られた財源を、
人口減少時代を迎える京都で、
何を守り育てるために使うのかということです。
その一つに総合芸術である映画・映像産業があります。
長く低迷する太秦の現状と映画・映像産業復活の秘策について、
業界関係者とともに考えて、明日の活力を養いたいと思います。
皆様のご参加を宜しくお願い申し上げます。



平素より二ノ湯しんじ議員の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
さてこの度、皆様と親しくお話をさせて頂きたく、下記の通り会を催すことといたしました。
当日会場にて、二ノ湯議員に皆様の思いをお話し頂き、また叱咤激励をして頂きますれば幸いに存じます。お誘い合わせのうえ、是非ともご参加賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

二ノ湯しんじ後援会役員一同

- 日 時 / 平成26年3月30日(日) 18:30~(受付18:00より)
18:30 スピーチ・アトラクション「映画・映像産業の今後を信じる!」
19:45 懇親会 (立食形式ですが、イス席も多数ご用意します)
- 場 所 / 東映太秦映画村 〒616-8586 京都市右京区太秦東蜂岡町10
※JR太秦駅徒歩5分、嵐電太秦広隆寺駅徒歩5分、地下鉄太秦天神川駅徒歩12分、駐車場あり
- 会 費 / 6,000円 (この催物は、政治資金規正法第8条の2に規定する政治資金パーティーです。会費の一部を調査活動・広報活動など二ノ湯議員の活動に使わせて頂きます。ご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。)

お申込み・お問い合わせは、二ノ湯しんじ事務所まで
TEL.075-862-1355 FAX.075-862-1350

高度成長を経て成熟社会を迎えるべき日本において、文化都市としての京都には特別な役割があります。

国境を越えて人やモノや生産拠点が移動している中で、京都・日本を支える産業が求められますが、日本の感性が反映される映画・映像産業は、これから注目される産業です。

かつての「東洋のハリウッド」は難しいとしても、それぞれハリウッドや東京で活躍するための登竜門として京都を位置づけて、地域住民・企業が参加する形で、もう一度京都を映画・映像産業の一大拠点にしたいと思います。

一緒に作り上げることで絆が生まれる、京都を舞台にすることで日本の歴史・文化の記録やPRができる、京都で学ぶ4000人の学生の実践研修の場にもなる。

こうした可能性を持つ京都の映画・映像産業が、地域社会で果たし得る役割について、面白おかしく、お示しできたらと思っています。



自主製作ドラマに俳優・榎本孝明さんも友人として出演! (左2人目)